タイトル

（あれば）副題

著者名[[1]](#footnote-1)　　第二著者名[[2]](#footnote-2)

1. はじめに

これは『新潟の生活文化』の日本語版テンプレートである。

本文は、和文はMS明朝を基本とする。ただし、タイトル・見出しなどはMSゴシックを用いる。欧文はTimes New Romanに統一し、タイトル・見出しなどは見出し体にする。これ以外のフォントを用いる場合は付加フォントではなく元々PCに搭載されているものを選択する。

見出しは10ポイント、本文は9ポイントとする。

本文。

1. 小見出し

2-1　小見出し

本文。

本文。

2-2　小見出し

本文。

本文。

1. 小見出し

3-1　小見出し

本文。



図 1　キャプション

図のキャプションは図番号の挿入で入れる。

本文。

本文。

本文。

本文。注１)

 文中の注番号は、上付き文字でつけ、注は本文最後につける。本文中の文字を適宜**ゴシック**にしてもよい。

本文。

3-2　小見出し

本文。

本文。

3-3　小見出し

本文。

本文。

1. 小見出し

4-1　小見出し

本文。

本文。

4-2　小見出し

本文。

**表１　キャプション**

|  |  |
| --- | --- |
| ｙｙｙ | Aaaaa |
|  |  |
| ｚｚｚ | Bbbbb |
| ｗｗｗ | Ccccc |
| ｖｖｖ | Ddddd |
| ｕｕｕ | Eeeee |

本文。

本文。

表や図が段組みにおさまらなくてもよい。

本文。

本文。

本文。

本文。

本文。

本文。

本文。

本文。

本文。

本文。

本文。

本文。

本文。

1. まとめ

本文。

本文。

本文。

本文。

参考文献　例

1. キレイ空気Lab~Tornex；

https://www.gaiki-seijouki.jp/column4/826/　(2022.2.3アクセス)

1. 倉渕隆；新型コロナ対策として換気量はどうやって決めるべきか，空気調和・衛生工学, Vol.95, No.6, pp.3-9, 2021
2. Douglas Stuart Walkinshaw（伊東民雄訳）; COVID-19とその先～旅客機客室の空気室，空気調和・衛生工学, Vol.95, No.11, pp.65-69, 2021

注　例

1. 本稿は、2022年＊月＊日に行われた＊＊研究会年次大会における著者の講演内容に基づく。
2. 文献3)によれば、＊＊との記述もある。
3. ＊＊には＊＊という考え方もある。
1. 著者情報は脚注の挿入でつける。著者名よみがな　所属　連絡先住所など　MS明朝9ポイントとする。 [↑](#footnote-ref-1)
2. 第二著者情報 [↑](#footnote-ref-2)